

会議報告

会議名称	「元気な入間」まちづくり推進・協働ガイドライン策定会議 第13回会議
開催日時	平成19年11月19日(月) 午後2時00分～4時15分
開催場所	市民活動センター 3階 活動室1
出席委員	渡部直也・鳥山政之・岩崎廣司・太田恵子・北田尚美・斎藤次雄・ 清水洋行・清水英弥・関谷佳代子・瀧澤良生・中澤 岳・原口喜代美・ 堀夫紗子・宮岡利幸 アドバイザー犬塚裕雅 以上14名
欠席委員	岡野 亘・亀谷容子・文字山啓子
傍聴人	無し
事務局	大野課長・齋藤主幹(司会)・西澤主査
会議の概要 及び 決定事項	<p>1. 開会</p> <p>2. 会長あいさつ</p> <p>3. 議事</p> <p>(1) ガイドラインの素案作成について</p> <p>(2) 協働ガイドラインのワークショップについて</p> <p>(3) その他</p> <p>[主な内容]</p> <p>○ 渡部会長 ワークショップでは、市民の方が議論の題材を提供してくれる機会になる。今日はワークショップ、その先どうするか2つの大きな課題で。忙しい中とは思いますがガイドライン策定に皆さんのお力をいただきたい。</p> <p>○ 事務局から本日の資料について説明(協働ガイドライン素案(案)の作成について説明) --- 第1部会、第2部会(第1章から第4章)の資料を全体の統一的な形に修正させていただいた。</p> <p>○ 鳥山副会長 運営部会で各部会案を取りまとめ、肉付けし、本当の意味での骨子案ができてきた。これをワークショップにかけて、実際活動されている方たちの意見をもらい、また、I章からIV章の流れと合わせて各論の肉付けをしたい。今日はワークショップについて「まちづくりサポートネット元気な入間」から説明があるが、策定会議でワークショップにどう係わり何を求めていくか。 ガイドラインをどこまでのものを作っていくのか。策定会議の方向性を協議したい。</p> <p>○ 各部会の説明(前回との変更点)</p> <p>◇ 第1部会 --- 前回の意見を参考に「手順書」をもう少し広い表現にした。</p>

図表に文言を足した。協働の形態の（１）から（５）を削った。

第１部会の検討（意見等）

- ・（協働全般について）今、入間市で市民活動は盛んだが、ボランティアとNPO活動がごっちゃになっている。そのため自立したNPOとして活動できる団体は少ない。発足したてのNPOを、何年かの時限的で良いので自立できるまで、行政として支援体制ができているか。
- ・ガイドラインは協働を行っていくためのもので、NPOを支援、育成していくのは、また別のものになる。

◇ 第２部会---市民の意識、制度、推進体制について現状と課題を明らかにしていく。協働を推進するために行政にもいろいろな視点、お互いが進めていくための意識、制度を考察する必要がある。

推進体制の文章、表現はボリューム的にまだ整理して、詰めていく必要がある。

第２部会の検討（意見等）

- ・自治会等入間市の今までから考えると、さらに内容を付加して、もっと入れても良いのではないか。
- ・過去に協働した経験があるが、お互いに良く分からない状況だった。しかし実際やってみるとお互いに相乗効果があった。やってみる事で両方が育っていくという事もあるのではないか。
- ・第１、２章は理想の部分。３、４章で現状。各論で協働の相手としてレベルアップし、段階としては良いのかなと思う。
- ・ある調査では、市民活動への関心は７％と低い。もっと問題意識を投げかけていかなければ。

◇第３部会---今回はワークショップ用資料。現状と課題の要素出し

（資料の左側）、それを解決していくために右側の項目を参加者のたたき台として考えてみた。

第３部会の検討（意見等）

- ・（ワークショップの話しと合わせて意見）

○ワークショップについて

◇「まちづくりサポートネット元気な入間」から当日の進め方について説明 --- 短い時間で行うので、要点を絞る必要がある。今回は、全体の中のピンポイント（協働の形態の現状と課題・今回資料の「表１」使用）で行いたい。

提供できる情報は市民活動センターや「まちサポ」のホームページでPRしていきたい。

ワークショップについての検討（意見等）

- ・短い時間で、解決策の幾つかを聞ければ良いのかと思う。
- ・「現状と課題」は自分たちが感じているものと同じかどうか。

	<ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザー 「表1」を使って、大枠をどうするというより、より目の前の問題、課題を聞いた方が入りやすいのではないか。 制約のあるワークショップで、協働をこう考えている、また、まるつきり認識されていない等の現状を認識するのも良いのではないか。 ・例えば「表1」でどういう意見が想定されるか。 ・アドバイザー ワークショップは想定するのではなく、その時の雰囲気や流れから出たものをファシリテーターがまとめる。お互いの認識の違いや思っていることを次のステップに生かす。 <p>○具体の施策（どこまでのものを盛り込むか）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルを作っておいて、こまめに（1年位）小さな手直し、大きいものは3年位でどうか。 ・具体的に使えるものになりたい。（ある程度、団体の人が見て使えるものにしたい。） ・協働の形態まで。（後援、共催など現実に行われている頻度高いもの） ・優先順位で、「いつ、誰がやる」まで入れればよいが。 ・後援、共催など教育委員会では基準がある。そういったものを整理しなければならない。 <p>制度があっても予算が無い。実際に使えるものになるかは難しい。 →そういう「策定委員会を作ります」という表現までかなと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価システムのフォーマットや申請書類まで入れるのか。 ・3月までに市長にどこまで提言するか。残っている課題を次年度に。 <p>○総括（アドバイザーより）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入間市版のガイドラインの基本設計として、何をやっていくか、何を進めていくか。実務的には関連課、予算取りはどう調整していくのか。団体にはどうやっていくのか。 ・来年からは詳細設計を皆さんが勢いをもってやっていくようになる。 <p>4. 閉会</p> <p>○鳥山副会長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来月で1つの区切りになる。そこから始まる部会もあると思うが、実りのあるものにしてもらいたい。
--	---

議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

平成 年 月 日

会 長 _____

